

八幡平-岩手山縦走報告

1 日目

2010 年 8 月 30 日(水) - 9 月 3 日(金)

M4 只左一也

M4 張 劉喆

9 月 30 日：東京→(東北道)→茶臼岳登山口→茶臼岳→八幡平→裏岩手連峰→大深山荘

10 月 1 日：大深山荘→三つ石山→鬼ヶ城→不動平避難小屋

10 月 2 日：避難小屋→岩手山→焼走り登山口→(東北道)→松島→(東北道)→東京

1 日目 (9月30日(木))

東京	01:00 発
(車)	
東北道西根 I C	08:25 着/発
(車)	
焼走り登山口	08:40 着 09:00 発
(車)	
茶臼岳登山口	09:50 着 10:40 発
茶臼岳	11:30 着 11:40 発
八幡沼	13:30 着 13:50 発
八幡平頂上	13:55 着/発
バス停	14:20 着/発
裏岩手連峰登山口	14:40 着/発
諸脩岳	15:55 着/発
嶮岨森	17:00 着 17:15 発
大深山荘	17:50 着 (避難小屋泊)

(歩行時間：約 6 時間)

深夜 1 時、只左が本郷で張を拾い、東北道経由で盛岡へ。途中、栃木、福島のあたりでは雨が降っていたが、さらに北へ進むうちに天気は好くなり、岩手県に入ると青空となった。盛岡に近づくと、立派な岩手山が正面にくっきりと見えるようになった。岩手山のすぐ東を少し通り過ぎ、西根インターで東北道を降り、下山口の「焼走り登山口」へ。今回の縦走の下山口となる焼走り登山口は公共の交通機関が通っていないので、自転車を置いておき、下山後に自転車でバス通りまで出て、車を置いてある登山口の茶臼岳入口にバスで向い、車を回収する予定だった。

焼走り登山口の脇にある公共の温泉施設でお願いをして自転車を置かせてもらい、縦走路の入口、茶臼岳登山口に車で向かう。予報通り大変いい天気で、岩手山の眺めが素晴らしく、途中で車を止めて写真を撮るほどだった。ただ、残念ながら少し色づいてはいるものの、紅葉にはまだ早いようだった。

茶臼岳登山口で車を止め、準備をして出発。ゆっくりしていたら 10 時半になってしまった。



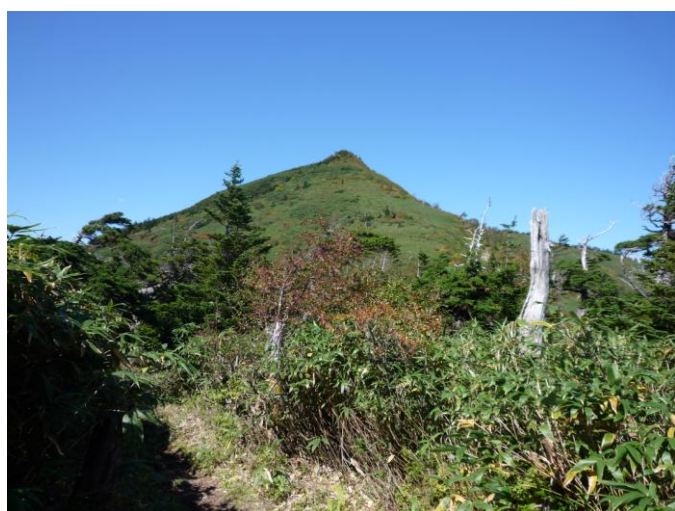
東北道を北へ進むと正面に岩手山が現れる



八幡平へ登る道の途中から眺める岩手山



茶臼岳登山口の駐車場



茶臼岳

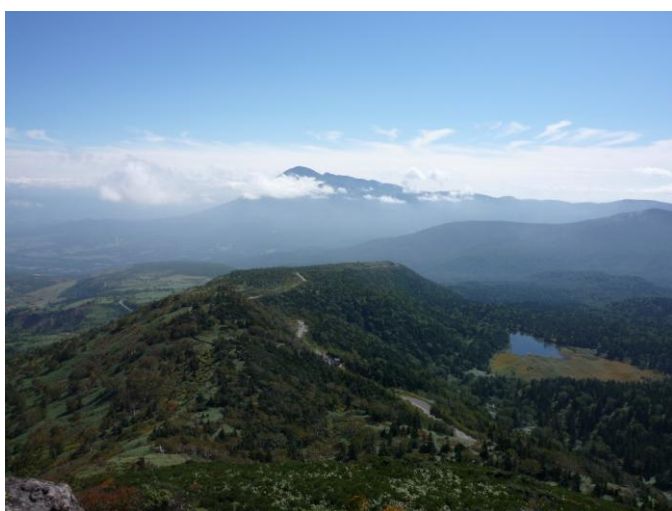
美しい笹原のなだらかな坂を登って行くと、40分ほどで立派な茶臼山荘(避難小屋)が現れた。ザックを置き、茶臼岳の山頂を往復する。八幡平の3大展望地の一つ、茶臼岳山頂に立つと、岩手山の眺めが素晴らしかった。眼下に広がるオオシラビソ(アオモリトドマツ)の原生林に、湿原や沼が点在している。ゆっくりしたかったが、時間が遅いので、先へ進むことに。



茶臼山荘



茶臼岳山頂



山頂から岩手山を眺める



眼下のオオシラビソ原生林に沼が点在する

避難小屋に引き返して荷物を担ぎ、原生林の中に散在する湿原を進む。途中、「熊の泉」という水場でのどを潤し、湿原と原生林の中を交互に進むうちに、人が多くなる。源太森という高台に上がると、八幡平全体を見渡すことができた。さらに進むと、八幡沼というきれいな沼が現れた。景色が好かったので、小休止を取る。

沼から 10 分も歩かないうちに、八幡平の最高地点(1613m)に着いた。すでに、午後 2 時近い。樹林に囲まれていて展望がないので、櫓が建てられていた。

山頂からいくつかの沼の脇を通り、なだらかな坂を下って行くと 30 分ほどで車道(八幡平アスピーテライン)に出た。盛岡からここまでバスが走っている。八幡平は山というよりも観光地だが、景色は大変素晴らしいと思う。



八幡平の湿原





「熊の泉」の水場。水は旨い。



源太森山頂から広大な八幡平を見渡す



オオシラビソ



源太森の山頂で





八幡沼



八幡平は山頂近くを車道が走っている



ここから裏岩手の縦走に入るのだが、しばらくは稜線を走っている車道を歩き、20分ほどで山道に入った。縦走路に入るとパタリと人に出会わなくなった。展望がよいという畚岳の山頂は登山道から外れているのだが、時間が遅かったのでパス。

周囲の景色を楽しみながら、美しいオオシラビソの原生林や笹原を進み、諸桧岳(もろびだけ 1516m)を過ぎ、眺めのいい嶮岨森(けんそもり 1448m)のピークに着いたのは、夕方17時だった。遅かったが、目的地の大深山荘の避難小屋が見えているし、なにより夕暮れの景色が美しかったので、山頂で小休止をした。



八幡平最高(1613m)

さらに進むうちに日が沈み、次第に暗くなってきた。午後5時50分、避難小屋に着いたときは大分暗くなっていた。大変きれいな小屋で、快適だった。この晩は、私たち2人の貸し切りだった。近くの水場に水を汲みに行き、2人で楽しくおしゃべりしながら夕食のキムチ鍋に舌鼓を打った。



畚岳



裏岩手の山々。正面は大深岳、右のピークは嶮岨森。





嶮岨森(1448m)



この日泊まった大深山荘(避難小屋)



嶮岨森の山頂